

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）「診療の手引き」 が改訂されました

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、2013年に国内で初めて報告されて以来、年間100例程度の届出が続いています。和歌山市においても、本年は届出がないものの例年数名の届出が続いています。患者発生時期は夏季に多い傾向が認められ、マダニの活動性とヒトの野外活動の増加との関連が考えられています。

本疾患は、体液に暴露され感染することがありますので、正しく理解し、適切な感染防止策を行いながら、診療いただきますようお願いいたします。また、SFTSが疑われる患者を診療した場合は、検査診断を含めご相談いただきますようお願いいたします。

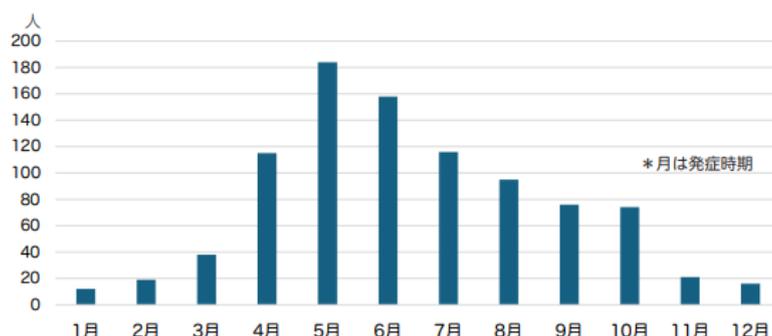
この度、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き」が2024年版として改訂されていますので、お知らせいたします。

SFTS の件数

	和歌山市	和歌山県	全国
2020	1	4	78
2021	4	7	110
2022	3	3	118
2023	1	3	134
2024	0	0	89

2024年は31週現在の累積です。

全国のSFTS症例の発症月別届出数(884例:2014~2023)



1) 「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き 2024年版」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001229138.pdf>



2) 厚労省 HP 「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html



3) 「国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について」（国立感染症研究所 HP）



https://www.niid.go.jp/niid/images/cepr/RA/SFTS/240801_NIID_SFTS.pdf